

## 令和6年度鹿児島学力・学習状況調査結果

	国語	社会	算数	理科
市平均	62.8	59.1	61.6	65.6
県平均	64.6	61.8	65.6	65.0

【令和7年1月15日・16日：実施】

上記は、5年生が1月に実施した鹿児島学力・学習状況調査の結果です。どの教科も県平均を大きく上回りました。特に、理科が大きく上回る結果となりました。これまでの学習の成果が発揮できたことが分かりました。観点別（知識・理解、思考・判断・表現）に見ても、全ての教科で県平均を上回っていました。

しかし、領域別に分析すると次のような課題もありました。国語については、「書くこと」がやや県平均を下回っていました。そこで、書いた文章を友達と読み合ったり、工夫したところを話合ったりする活動を行っていきます。社会については、「生活と工業生産（輸送・貿易）」がやや県平均を下回っていました。そこで、日本の輸出・輸入の品目とその相手国について、再度確認していきます。算数については、「図形」がやや県平均を下回っていました。そこで、図形の面積の求め方を考えたり、平行四辺形や合同な図形の性質について確認したりしていきます。理科については、「エネルギー」がやや県平均を下回っていました。そこで、乾電池のつなぎ方と電流の関係について、実験を通して再度確認していきます。

意識調査等については、「友達と話合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新しい考えに気付いたりする」が高い傾向が見られる一方で、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」が低い傾向が見られました。

今年度からC B T方式（Computer Based Testing）での実施となり、児童が自身の学力や学習の状況を把握し、個に応じた振り返り（復習等）ができるようになりました。今後も今回の結果をもとに指導法改善や児童の確かな学力の定着に努めていきます。ご家庭でも引き続き親子10分間学習や音読等へのご協力をよろしく申し上げます。